

全国戦没者追悼式の概要について

1 式典の趣旨

全国戦没者追悼式は、我が国が戦後、平和国家として飛躍的な発展を遂げた陰には、先の大戦において310万人の尊い犠牲があったことに思いをはせ、これら戦没者の方々の尊い犠牲を永く子々孫々に伝えとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう恒久平和への誓いを新たにするという趣旨の下に、毎年8月15日に政府主催で天皇皇后両陛下の御臨席を仰いで実施している。

2 式典の開催状況

昭和38年5月14日の閣議決定により、同年8月15日に政府主催による全国戦没者追悼式を実施することとしており、以降毎年8月15日に全国戦没者追悼式を実施している。

3 式典次第

- ・開式
- ・天皇皇后両陛下御臨席
- ・国歌奏楽
- ・式辞 内閣総理大臣
- ・黙とう（正午から1分間）
- ・天皇陛下のおことば
- ・追悼の辞 衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官及び遺族代表
- ・天皇皇后両陛下御退席
- ・献花
- ・閉式

【参考】

先の大戦における戦没者概数

総 数		310万人	
内 訳	軍人軍属など	外 地	210万人
		内地及び周辺	20万人
	邦 人	外 地 戦 没 者	30万人
		戦 災 死 没 者	50万人

(注1) 昭和38年8月15日、全国戦没者追悼式の際に310万人であると公表

(注2) 邦人のうち、戦災死没者の数は、太平洋戦全国戦災都市空爆犠牲者慰霊協会（現在名、財団法人太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会【総務省所管】）調べ。